

令和3年度事業計画

大会日程が令和4年5月13日（金）～29日（日）で決定し、令和3年度は大会前年度となることから、開会式運営や競技運営、各会場のレイアウト・設営、その他全般について内容を固め、実際に運用に供するためのマニュアルを作成する必要がある。

延期に伴う開会式会場や競技会場の確保や日程の決定、競技実施要項の修正、大会参加者やボランティア応募者への対応等については、組織委員会の方針等に基づき進めていく。

新型コロナウイルスへの対応については、組織委員会の策定する指針や競技団体のガイドラインに基づき、各関係機関と協議しながら、対策を盛り込んだ計画を作成する。

一方で、京都市の財政がこれまでにない厳しい状況にあることから、事業内容について徹底した精査を行い、効率的な運営を行うとともに、自主財源の確保（協賛、ふるさと納税寄付金等）に取り組む。

大会認知度については、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ではあるが、様々な工夫を凝らし、向上を目指していく。

1 大会開催準備

(1) 開会式

式典プログラムの決定、演出・ステージパフォーマンスの決定、パレードの詳細決定、会場レイアウト・会場装飾の決定、必要備品・消耗品等のリストアップ、出展内容・出展者の決定、参加者輸送計画の決定、スタッフ配置の決定、警備計画の決定、実行委員会本部における各種機能・実施業務の決定、開会式運営マニュアルの作成 など

(2) 競技運営

競技運営進行プログラムの決定、競技会場における各種機能・実施業務の決定、会場レイアウト・会場装飾の決定、大会開催に向けた競技運営ノウハウの構築、必要備品・消耗品等のリストアップ、交流の場内容・出展内容・出展者の決定、来場者輸送・案内誘導方法の決定、競技役員・競技補助者の確保、スタッフ配置の決定、出場者対戦組み合わせ等の決定、競技運営マニュアルの作成 等

(3) マスターズビレッジ

マスターズビレッジにおける各種機能・実施業務の決定、会場レイアウト・会場装飾の決定、必要備品・消耗品等のリストアップ、交流の場内容・実施方法等決定、スタッフ配置の決定、マスターズビレッジ運営マニュアルの作成 等

(4) 大会運営本部

大会運営本部における各種機能・実施業務の決定、大会運営本部体制・設置場所の決定、必要備品・消耗品のリストアップ、スタッフ配置の決定、大会運営本部運営マニュアルの作成 等

(5) 医療救護

メディカル部会の設置，救護本部・救護所における各種機能・実施業務の決定，救護所設置場所の決定，救護所レイアウトの決定，救護備品・消耗品のリストアップ，医師・看護師・救急救命士・その他スタッフの確保・配置，医療救護マニュアルの作成 等

(6) 安全・危機管理

安全対策本部・各会場安全対策班における各種機能・実施業務の決定，緊急時対応内容の決定，開会式・各競技等の会場確認・リスク調査，災害・事故等の予防対策の決定・実施，必要備品・消耗品のリストアップ，スタッフ配置の決定，安全・危機管理マニュアルの作成 等

(7) ボランティア

新規のボランティア希望者募集，既申込者及び既申込団体への再意向調査，募集に係る関係団体等への再協力依頼 等

(8) 市民連携

- ・京都さくらよさこい連携事業

開会式での演舞や広報協力等に向けた学生実行委員会との連携，調整

- ・市民公募事業

市民力・地域力を生かすため，市民との連携による京都らしいおもてなしを目的として以下の団体等を公募する。

ア 開会式や競技の会場において，参加者へのおもてなし事業に協力いただける団体等

イ 開会式の会場において，ステージパフォーマンスを披露いただける団体等

2 オープン競技

オープン競技については，令和2年10月28日付で「オープン競技実施要領」が改訂され，オープン競技新規登録申請期間が令和4年2月26日まで延長となったことから，大会の機運醸成のより一層の向上のため，追加募集を随時受け付ける。

また，本市で開催が決定しているペタンク，ダブルダッチについては，大会の1年延期に伴い，実施に向けて競技日程，会場等の調整を進める。

3 広報事業

大会認知度の更なる向上と機運の醸成を図るため，新型コロナウイルス感染症の動向を見極めたうえで，組織委員会との連携の下，様々な機会を通じて広報PR活動を実施する。

特に，京都市実行委員会では，引き続き，体育振興会連合会，各区役所・支所をはじめ，実行委員会構成団体等との連携，協力のもと，市民の皆様に京都市で開催する開会式や競技に関し，大会の趣旨を御理解いただき，競技出場やボランティアとしての参加意欲の向上にも併せて取り組む。

(1) 大会参加者募集に関する広報

前年度に引き続き、参加者募集の広報を行うとともに、募集締め切りに向け、応募状況に合わせた広報を行う。

(2) ボランティア募集広報

前年度に引き続き、ボランティア募集の広報を行うとともに、ボランティア参加に向け積極的に、各種関係機関・関係団体、企業、学校等への働きかけを行う。

(3) 様々な媒体を活用した広報の実施

市民しんぶん、ラジオCM、ウェブ広告（SNS含む）等を活用し、認知度向上のための取組を実施する。

(4) 参加者等に対する歓迎を表すシティドレッシングの実施

令和3年度末頃から大会期間終了まで、公共機関における駅広告や商店街、京都市内主要道路におけるフラッグの掲揚などを実施する。

4 節目イベント・関連イベント

大会前年度を迎え、大会認知度の更なる向上及び機運の醸成を図るため、関係団体・関係機関の協力を得ながら、関連イベントを開催する。更に本市主催のスポーツイベントや関係機関の主催イベントと連携するなど、ワールドマスターズゲームズの盛り上げ、機運醸成に繋がる取組を精力的に進めていく。

5 観光事業

WMG特別体験プランの再募集に向け、各事業者と協議しながら、既存プランの期間等について調整を行う。再募集の際には、あらゆる機会をとらえて事業者と連携して周知していく。

また、市内各種イベントの大会期間（令和4年5月13日～29日）中への集約実施による盛り上げや、市内観光施設や関係団体等との連携による大会参加者のおもてなしにつながる事業、サービスの提供（割引や記念品プレゼント等）について協力依頼を行っていく。

さらに、各種会場（開会式、各競技、マスターズビレッジ）において、観光案内PR映像の放送や観光案内チラシの配布等を実施する。

6 協賛・ふるさと納税

- ・企業へのセールス（寄付依頼も含む）
- ・ふるさと納税の周知

7 実行委員会事務局の運営

大会の準備や重要事項について協議検討を行うために、実行委員会の総会・幹事会を開

催し，決定した内容について業務を進めていくとともに，予算管理・予算の執行を行う。

- 実行委員会総会の開催（年1～2回・3月予定）
- 実行委員会幹事会の開催（年2～3回必要に応じて開催）
- 実行委員会専門部会の開催（必要に応じて開催）
- 開催準備業務の遂行等